

2025年3月期第1四半期 決算補足資料

2024年8月9日



(東証スタンダード市場 9857)

連結決算概要	．．．	P. 3
品目別売上高	．．．	P. 4
業界別売上高	．．．	P. 5
バランスシート（連結）	．．．	P. 6
連結業績推移	．．．	P. 7

(単位:百万円)	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減額		前年 同四半期比	2025年3月期 業績見通し
売上高	8,841	9,267	+	425	+ 4.8%	44,000
営業利益	365	494	+	128	+ 35.2%	2,350
経常利益	397	523	+	126	+ 31.7%	2,410
親会社株主に帰属する 四半期純利益	263	350	+	86	+ 32.8%	1,680

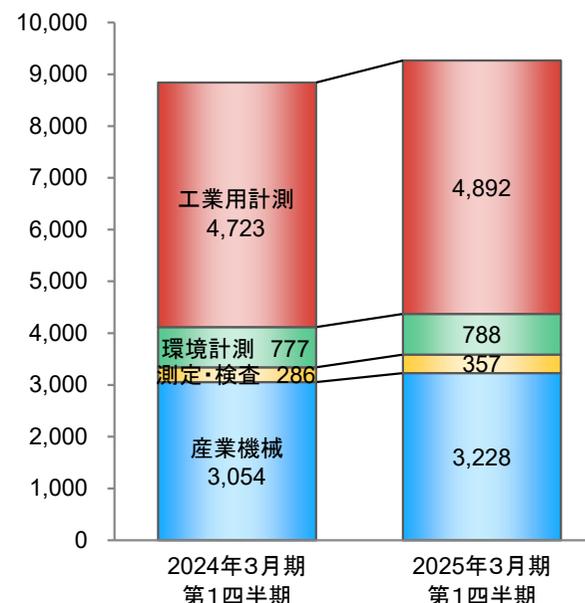
決算の概況

トラックシャーシの供給に目途が立ち、防災・減災、国土強靱化に関連する特殊車両に関する受注は堅調に推移しました。販売については、定期修理に伴うリプレイス需要や生産性向上を目的とするデジタル投資需要を取込み、化学業界、電力業界向けの販売が増加した他、温室効果ガス(GHG)排出量削減を目的とした新造船需要の高まりを受け、造船業界向けの販売も増加しました。また、重点戦略に掲げている高付加価値営業の強化に取り組んだ結果、収益性が向上しました。

(注)本資料中の金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	前年 同四半期比	構成比
工業用計測制御機器	4,723	4,892	+ 3.6%	52.8%
環境計測・分析機器	777	788	+ 1.5%	8.5%
測定・検査機器	286	357	+ 24.9%	3.9%
産業機械	3,054	3,228	+ 5.7%	34.8%
合計	8,841	9,267	+ 4.8%	100.0%

(単位:百万円)



増減要因

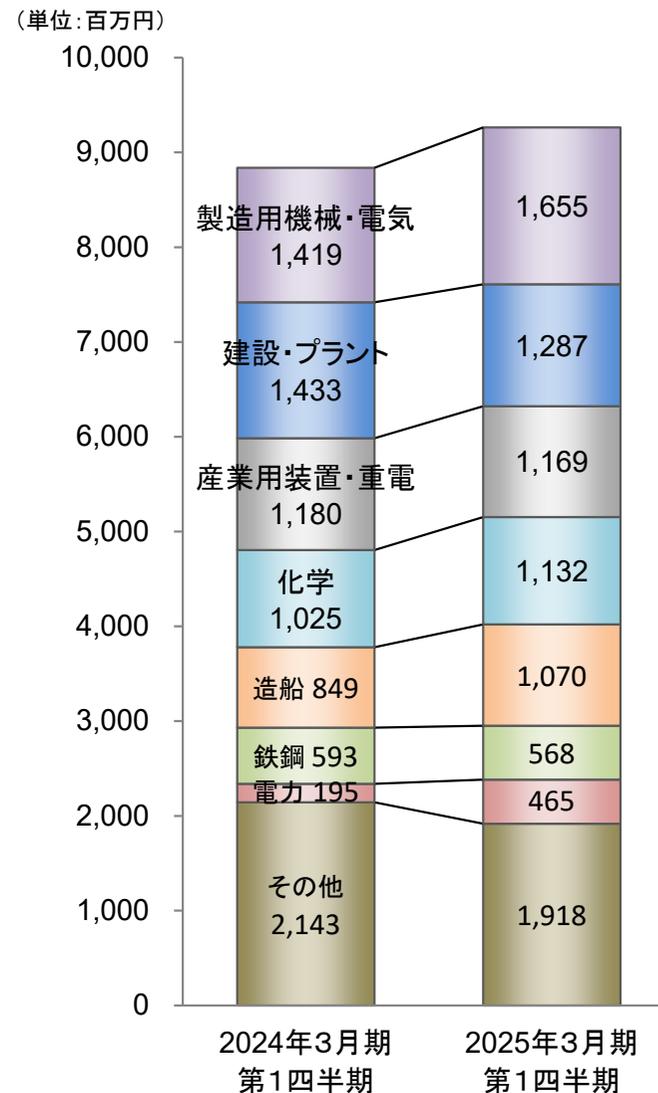
◆ **工業用計測制御機器** … 労働人口の減少による人手不足や働き方改革に加え、熟練作業者の減少に伴う技能継承問題の解決、また、老朽化が進行する生産設備の安定稼働のため、AIやIoTといった最新のデジタル技術を活用した設備の自動化につながる各種センサー、ソリューション提案に取組みました。その結果、化学、建設・プラント、電力業界向けに定期修理を契機とする各種プロセス制御機器や遠隔監視機器の販売が堅調に推移した他、生産設備の高稼働状況を背景として造船業界向けに各種センサーの販売も増加しました。

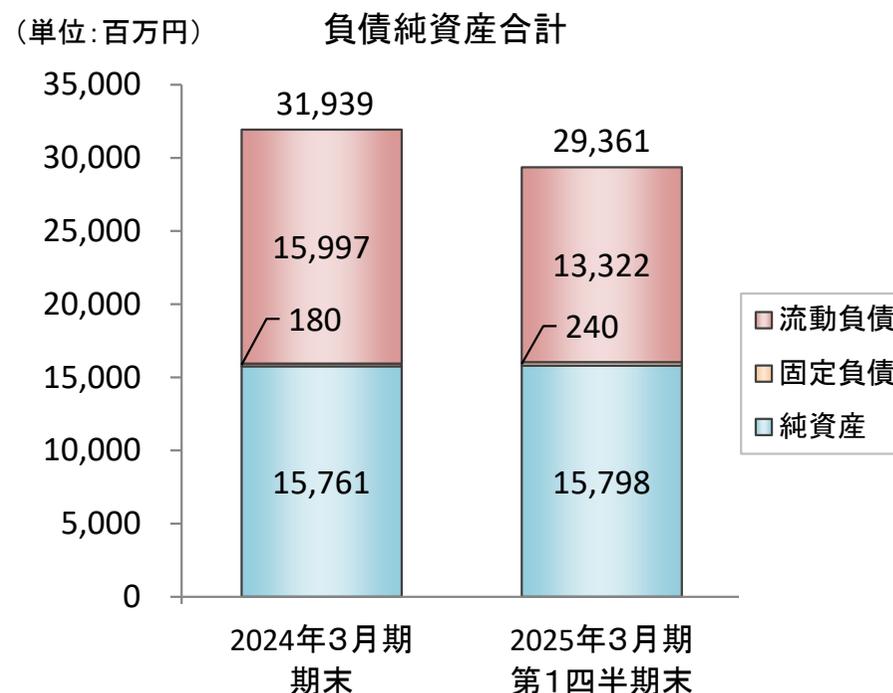
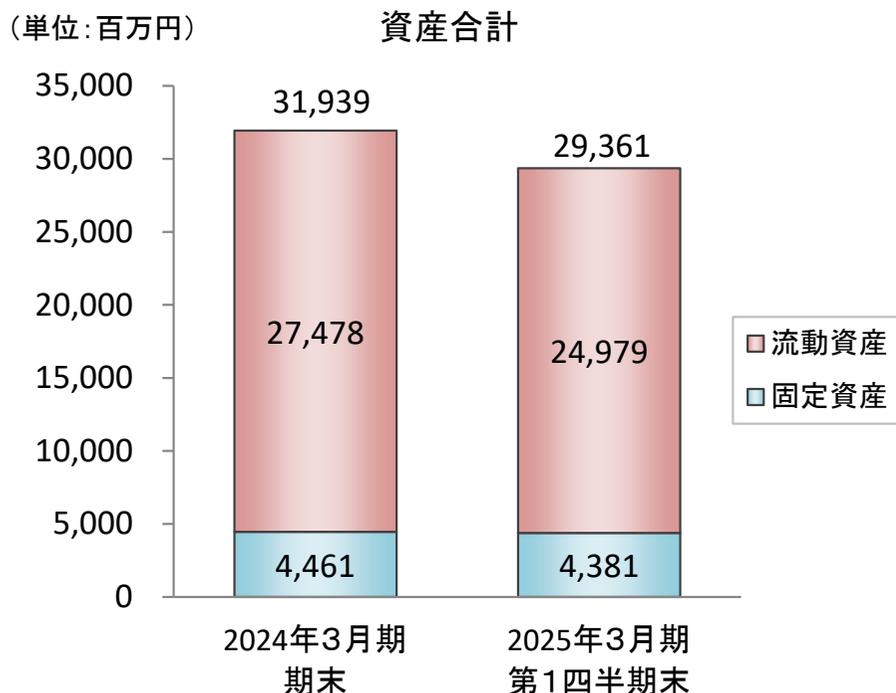
◆ **環境計測・分析機器** … 地球温暖化対策や地球環境に対する課題意識の高まり、生産現場における労働環境の改善、老朽化が進行するインフラ設備や生産設備の更新提案に取組みました。その結果、電力、造船、産業用装置・重電設備業界向けに水質・大気・ガス分析計の販売が増加しました。

◆ **測定・検査機器** … 脱炭素社会の実現に向けグリーンイノベーション(GI)基金事業を活用した研究開発や、製品の品質管理体制の強化を目的とした各種測定検査機器の提案、生産設備の作業効率向上を目的に使用される保安点検ソリューションの提案に取組みました。その結果、自動車業界向けに精密測定機器の販売が増加した他、化学業界向けに非破壊検査機器や保安メンテナンス機器の販売も増加しました。

◆ **産業機械** … 防災・減災、国土強靱化に関連する道路維持機械、特殊車両の提案、サーキュラーエコノミーに関連するソリューションの提案、省エネルギーや高効率につながる各種機器の提案、生産現場の安全性向上に関連する各種機器の提案に取組みました。その結果、トラックシャーシの供給に目途が立ち、特殊車両の受注は堅調に推移しました。また、カーボンニュートラル社会実現に向けた投資需要を取込み、各種電解評価装置、各種電解セル等の販売が伸長した他、化学、鉄鋼、電力業界向けに安全対策への投資や定期修理を契機とするバルブやポンプ等の販売も増加しました。

(単位:百万円)	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	前年 同四半期比	構成比
製造用機械・ 電気機器	1,419	1,655	+ 16.6%	17.9%
建設・プラント	1,433	1,287	△ 10.2%	13.9%
産業用装置・ 重電設備	1,180	1,169	△ 0.9%	12.6%
化学	1,025	1,132	+ 10.4%	12.2%
造船	849	1,070	+ 26.0%	11.6%
鉄鋼・ 金属製品	593	568	△ 4.3%	6.1%
電力・ガス	195	465	+ 137.9%	5.0%
その他	2,143	1,918	△ 10.5%	20.7%
合計	8,841	9,267	+ 4.8%	100.0%





2025年3月期第1四半期 ハイライト(カッコ内は前期比)

自己資本比率 : 53.8% (2024/03時点 49.3%)

資産

【増減の主な要因】 (単位:百万円)

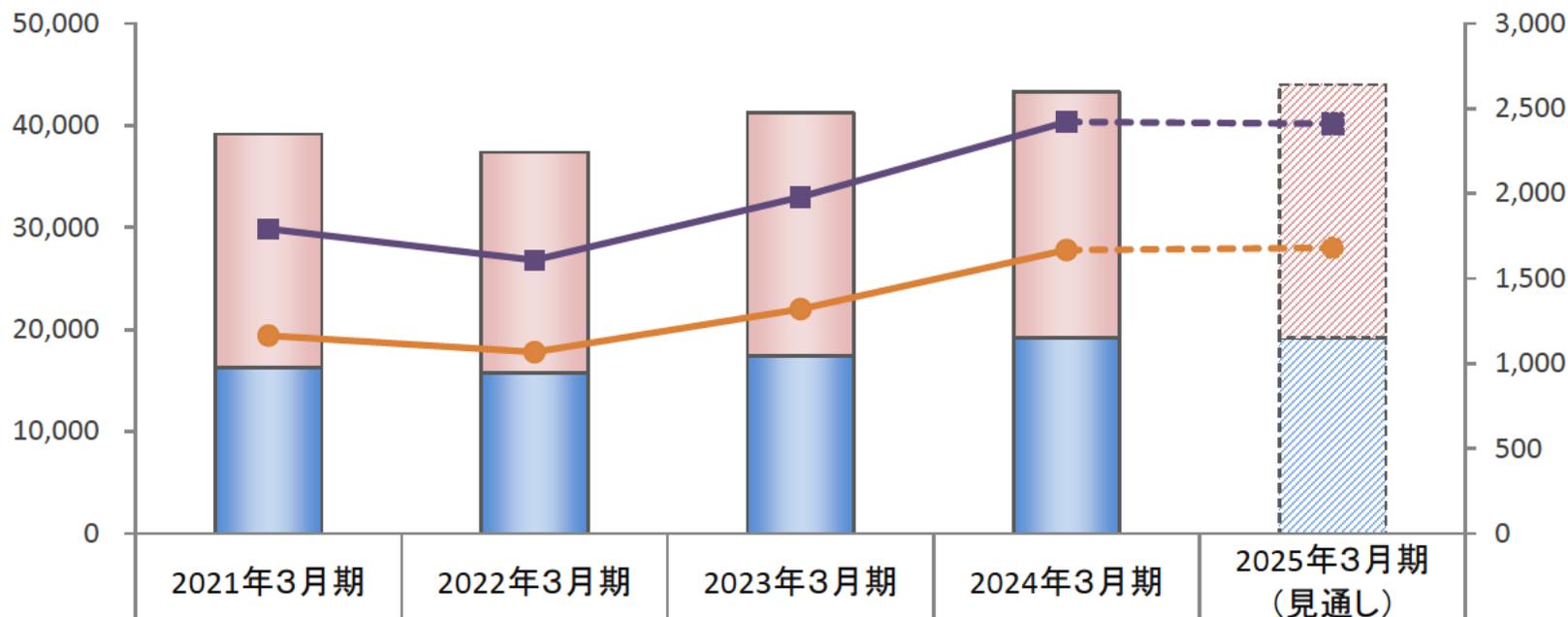
- ◆受取手形、売掛金及び契約資産: 13,093(△2,626)
売上債権の回収が進んだことにより減少しました。

負債・純資産

【増減の主な要因】 (単位:百万円)

- ◆支払手形及び買掛金: 4,503(△1,869)
仕入債務の支払いが進んだことにより減少しました。
- ◆賞与引当金: 179(△444)
賞与の支給により減少しました。
- ◆純資産: 15,798(+37)
配当金の支払い(316百万円)により減少し、四半期純利益(350百万円)等により増加しました。

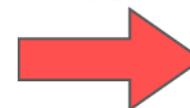
(単位:百万円)



3~4Q売上高(左軸)	22,926	21,606	23,884	24,102	24,800
1~2Q売上高(左軸)	16,232	15,771	17,399	19,190	19,200
売上高	39,159	37,378	41,284	43,292	44,000
経常利益(右軸)	1,791	1,608	1,979	2,421	2,410
親会社株主に帰属する 当期純利益(右軸)	1,164	1,067	1,320	1,667	1,680

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
ROE (自己資本利益率)	10.3%	8.7%	9.9%	11.2%

安定的にROE10.0%を
目指します



2026年3月期
目標

10.0%

本資料に関するお問い合わせ先



経営戦略部

TEL : 06-6539-4816

E-Mail : ir-info@eiwa-net.co.jp

URL : <https://www.eiwa-net.co.jp>

(注)この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受けるため、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行っていただきますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。